SEAFOOD
MAP

世界の水産物供給のパフォーマンスの測定と促進

より持続可能な水産物供給のために現地の漁業従事者を支援する

世界の水産物の消費量は年々増加しています。その結果、水産業界は、海洋生物のために健全な海洋生態系を維持しつつ、製品を安定供給し、食品安全を確保する必要に迫られています。認証やレーティング、漁業や養殖業改善プロジェクトは、水産物の持続可能性を高めるための重要なツールではありますが、万能薬ではありません。現在、世界の水産製品の64%以上ではこれらの取り組みが行われていません。

持続可能性に向けた変化を加速させるためには、漁業者、養殖業者、協同組合、NPO·NGO、開発機関、投資家、水産物のバイヤーなど、水産バリューチェーンの関係者が、責任ある方法で水産物の生産を目指し、改善し続けていくためのわかりやすいガイダンスが必要です。3年間のスコーピングを経て、IDH（持続可能な取引イニシアチブ）の支援を受けた世界水産物持続可能性イニシアチブ（GSSI、Global Sustainable Seafood Initiative）は、このニーズを受けてSeafood MAP（シーフードマップ）プラットフォームを構築しました。

世界の90以上のステークホルダーとの官民パートナーシップとして、GSSIは水産物の持続可能性の課題に対処するため、グローバルな取り組みとリソースを調整し、GSSIグローバル·ベンチマーク·ツールにより国際的なガイドラインを運用してきました。GSSIは、Seafood MAP（シーフードマップ）によるグローバルパートナーシップの影響力をもって、認証されていない水産物の透明性滝、信頼性、選択性を高め、認証水産物の数を増やしていきます。

滝

“世界の水産製品の64%では、持続可能な取り組みが行われていません”

Certification and Ratings Collaborationによる推定値。

見える、
使う、
広げる。

Seafood MAP（シーフードマップ）は、「Measuring and Accelerating Performance of global seafood supply（世界の水産物供給のパフォーマンスの測定と促進）」の略です。Seafood MAP（シーフードマップ）は、水産業界における持続可能性に関する取り組みを推進するためのデジタルプラットフォームです。水産業界の関係者が、自社のサステナビリティに関する目標や進捗を共有し、業界内での取り組みを促進できるデジタルプラットフォームです。

このプラットフォームでは、サステナビリティを目的とした世界各地のプロジェクトをマッピングツールも使えます。業界全体の機会創出と成長のため、できる限り多くの水産関係者の方にご利用いただけるような、唯一無二の透明性のあるプラットフォームを目指します。

Seafood MAP とは

グローバルガイダンス

GSSIグローバル･ベンチマーク･ツール同様Seafood MAP（シーフードマップ）も国際的に認められているガイドラインに基づいて構築されています。

- 国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」
- FAOの「責任ある漁業のための行動規範」（Code of Conduct for Responsible Fisheries）
- 「持続可能な小規模漁業の保障のための任意ガイドライン」（FAO Voluntary Guidelines for Securing Sustainable Small-Scale Fisheries）

この共通言語により、ユーザーはサステナビリティに関するパフォーマンスの評価･追跡、環境･経済･社会的パフォーマンス指標の簡素化、水産物生産のサステナビリティに関する知識のギャップを埋めることができます。

市場とリソース

Seafood MAP（シーフードマップ）のユーザーは、製品やサービス、継続中の活動の情報を自分のプロフィールにアップロードできます。マッチングアプリケーションのように、この情報を基に、事業や、共通するサステナビリティに関する目標ごとにネットワークが形成され、ユーザーがつながり、コラボレーションスペースで交流できるようになります。

プラットフォームでは：

- バイヤーとサプライヤーが互いを探すことができます
- NPO、NGO、開発機関は漁業者や養殖業者とつながることができます
- 生産者は新しい市場を見つけることができます
- 投資家はデータにアクセスしてより良い判断を下すことができます

信頼を築くためのシステムへ

ユーザーは、自己評価ツールを利用して自分のプロフィールに情報を追加し、持続可能な取り組みと進捗状況を報告できます。

マイルストーンに到達するとユーザーに通知され、結果がプラットフォーム上で目立つように表示され、拡散されます。そのプロジェクトに、より多くの人々が参加し、より大きなインパクトを生み出すためのパイプラインとなります。

> “水産サプライチェーンを改善し続けるための新たな協力関係が生まれます”

目標を達成する

1 プロフィールを作成し、目標を共有し、過程を説明します

2 サステナビリティに関する目標やビジネス上の関心事が似ている人とつながり、交流します

3 自社のサステナビリティに関するパフォーマンスを把握・追跡し、他者から学びます

4 信頼関係を構築し、サステナビリティのマイルストーンを確認します

5 プロジェクトの成果を明示し、取り組みをアピールします

組織による Seafood MAP の利用

Seafood MAP（シーフードマップ）は、水産業に関わるすべての方が利用できます。Seafood MAP（シーフードマップ）プラットフォームは、ユーザーごとにメリットをもたらします。

生産者

Seafood MAP（シーフードマップ）プラットフォームの主なユーザーは、生産者です。特に発展途上国の小規模漁業者や養殖業者の多くは、サステナビリティの報告ツールを使っていません。サステナビリティに取り組んでいるにもかかわらず、生産者はバイヤーからの関心を得られていないのが現状です。しかし、このプラットフォーム上では、サステナビリティに関する目標や達成までの道のりを共有し、認めてもらうことができます。また、自分のストーリーを紹介して生産者同士で学び合うこともできます。

バイヤー

Seafood MAP（シーフードマップ）では、加工業者、流通業者、卸売業者、小売業者など、サプライチェーン全体の水産物バイヤーが、常に最新のデータベースにアクセスし、新しい調達元を見つけることができます。バイヤーは、サプライチェーンを持続可能な方法で強化するために必要な情報を得て、生産者やサプライヤーと協力しながらサステナビリティを実現する道を歩む機会を得ることができます。

投資家

水産業界のような細分化されたセクターでは、世界中の認証されていない生産者や小規模生産者に関する情報が不足しています。Seafood MAP（シーフードマップ）は、投資家のさまざまな市場への理解を促進し、意思決定プロセスをサポートします。また、このプラットフォームには、投資可能なサステナビリティサービスや製品概要も記載されています。投資家は、より持続可能な水産物のために、水産バリューチェーン全体と協力して、地域や地方の戦略を立てるための意見を集めることができます。

NGO

Seafood MAP（シーフードマップ）に登録することで、持続可能性を目指すNPOやNGOの活動が可視化され、その目的や進捗状況が水産業のコミュニティ全体で共有されます。自組織の活動を宣伝するとともに、協力関係にある小規模漁業者の活動を紹介し、潜在的なバイヤーとのつながりを促進します。

開発機関

国連の専門機関など、国家および政府間開発機関は、このプラットフォームに自国のプログラムを登録し、国際的に認められたガイドラインの順守を、広く水産物コミュニティにアピールすることができます。

サステナブル・シーフードを一緒に広めませんか

GSSIに参加するメリット：

- GSSIパートナーシップのメンバーとしてSeafood MAP（シーフードマップ）プログラムを形成し、GSSI Seafood MAP Partner Taskforce（シーフードマップパートナー特別委員会）に参加することができます
- Seafood MAP（シーフードマップ）プラットフォームで紹介され、より持続可能な水産物への取り組みをアピールすること **ができます**
- サステナビリティの取組を行っている組織のネットワークに参加し、さらなる変化をもたらすことができます

お問い合わせ：

SEAFOODMAP@OURGSSI.ORG

SEAFOOD
MAP

コーディネーター：
Olivier Hersperger (GSSI)

プロジェクトオフィサー：
Eva Mudde (GSSI)

デザイン：
marcelbosdesign.com

GSSI
GLOBAL SUSTAINABLE SEAFOOD INITIATIVE

協賛：

idh the sustainable trade initiative